

# 津波被災地における復旧・復興事業の完了見通しについて

## 1. 趣旨

○津波被災地(帰還困難区域を除く)における生活の安全・安心を支える公共土木施設等の復旧・復興事業について、個別箇所ごとに完了見通しを公表し、津波被災地域の復興まちづくりや帰還へ向けた取組に弾みをつけるもの。

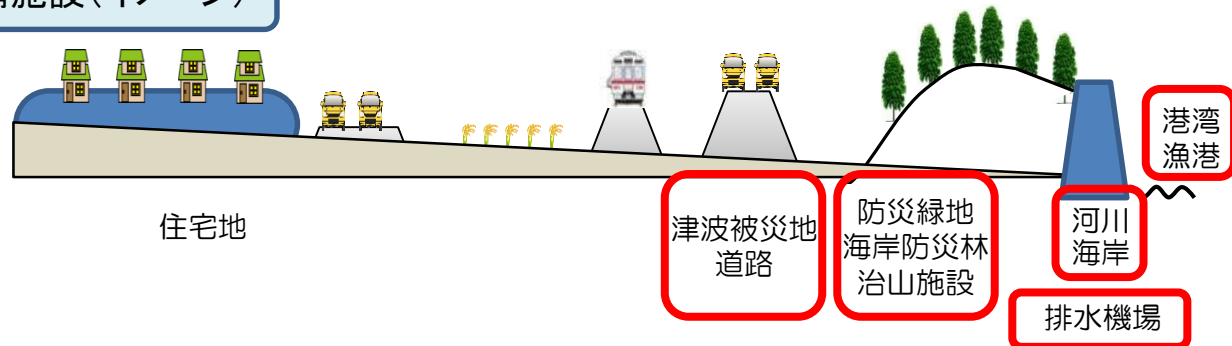
## 2. 各事業の完了見通し

対象施設	事業内容	完了年度	事業箇所	事業進捗見通し(箇所・地区・工区数[累計])					
				H27迄	H28迄	H29迄	H30迄	H31迄	H32迄
①河川	被災した河川の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げをする	H31	31	1	13	19	29	31	
②海岸	被災した海岸の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げ及び消波堤や離岸堤等の復旧をする	H31	86	18	44	69	85	86	
③排水機場	被災した排水機場を復旧する。(海岸堤防に隣接し湛水被害を防止するポンプ場や樋門などの復旧)	H30	37	27	30	32	37		
④港湾・漁港	被災した港湾及び漁港の防波堤や岸壁等の施設を復旧する	H30	15	4	6	13	15		
⑤道路	被災した道路を原形に復旧する	H30	304	285	298	302	304		
⑥津波被災地道路	津波の襲来前に内陸部や高台に速やかに避難するための道路(バイパス・拡幅)を整備する	H32	21	1	6	11	19	20	21
⑦防災緑地	津波を軽減し、市街地を守るために新たに植樹や盛土を築造する	H31	10		1	3	7	10	
⑧海岸防災林	津波や飛砂、強風等から農地を守る防災林を新たに築造する	H32	8					2	8
⑨治山施設	被災した治山施設(防潮工、護岸工、盛土)を復旧する	H30	7	2	3	3	7		
全体			519	338 (65%)	401 (77%)	452 (87%)	503 (97%)	512 (99%)	519 (100%)

※津波による被災を受けた、浜通り沿岸部の9市町村(新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、広野町、いわき市)内の事業。

平成28年度までに約8割、平成29年度までに約9割、平成30年度までにほぼ完了の見通し。

### 整備施設(イメージ)



## 3. 各年度ごとの進捗見通し(概況)

### 【平成28年度】

- JR常磐線(相馬ー浜吉田駅間)の12月末までの再開通時には、新地町の市街地に対して津波を軽減する海岸堤防が完成し防災緑地(盛土)が概成
- 開発地事業の進むJR広野駅海側に位置する海岸堤防及び防災緑地、県道広野小高線・北迫工区が供用
- いわき市久之浜土地区画整理事業などの完了に併せ、県道久之浜港線・久之浜東工区等が供用

### 【平成29年度】

- 相馬港、小名浜港等の3港湾が復旧完了。松川浦漁港等の4漁港が復旧完了
- いわき市の平磐城線(小名浜工区)が供用し、アクアマリンパークと市街地が直結

### 【平成30年度】

- 請戸・富岡漁港の復旧が完了し港湾漁港復旧(15港)がすべて完了
- 豊間地区を含む防災緑地の70%が完了
- 津波被災地道路は概ね(95%)完了
- 道路(304箇所)、排水機場(37箇所)及び治山施設(7箇所)の災害復旧がすべて完了

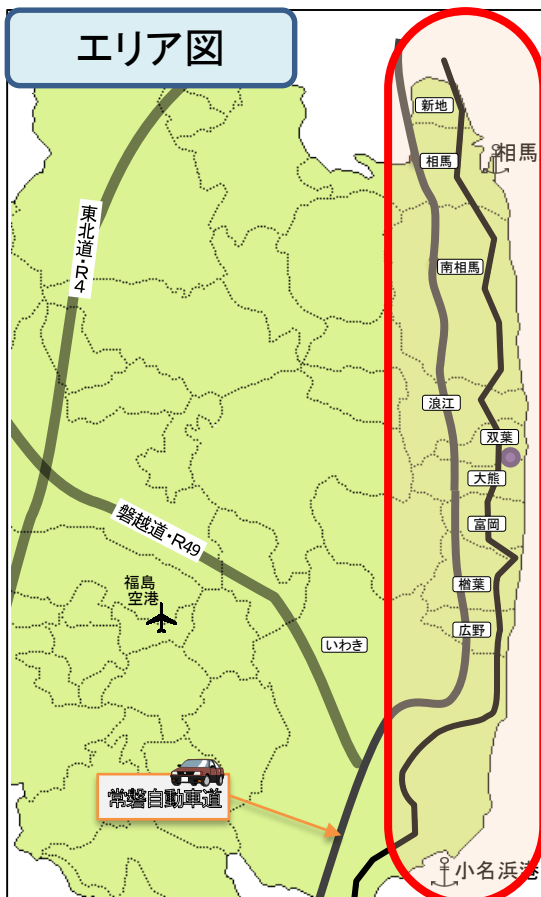
### 【平成31年度】

- 河川(31箇所)、海岸(86箇所)、防災緑地(10地区)がすべて完了

### 【平成32年度】

- 津波被災地道路がすべて(21箇所)が完了
- 海岸防災林(8地区)がすべて完了

### エリア図



### (参考)

#### 帰還困難区域における道路災害復旧事業の完了見通し

○帰還困難区域においては、関係市町村の帰還計画に関連する道路や一時立ち入りの障害となる道路の被災箇所について、国による除染など必要な対応を行い復旧することとしており、既に災害査定を終えている箇所については平成29年度までに完了の見通し。

事業箇所	事業進捗見通し(箇所・地区・工区数[累計])					
	H27迄	H28迄	H29迄	H30迄	H31迄	H32迄
39	9	32	39			

※津波被災地外の葛尾村(3箇所)、飯館村(2箇所)は上表に含めず。